



RGI 個人



New Body Difficulties 身体難度

News DB

2025年と2026年に提示され、承認されたすべてのDB（ドラガス、グリスケナス、トゥゴルコワ、ヴァルフォロメエフ）は、全ての新体操選手に開放され、これらの世界選手権後にCoPに導入される。



Reminders & Questions & Answers

Remember

10.6. 国のエンブレム及び広告は大会公式規定に適合すること。

12.1. 選手はマイクによってアナウンスされるか、または緑色のランプの点灯のいずれかにより一度コールされたら競技エリアに入場しなければならない。入場が遅い場合、審判長は遅延の理由を確認する（組織委員会のミスまたは選手のミスのためか）。

個人一手具操作

面
方向
高さ

3.6. DB 中の手具技術要素は異なること：

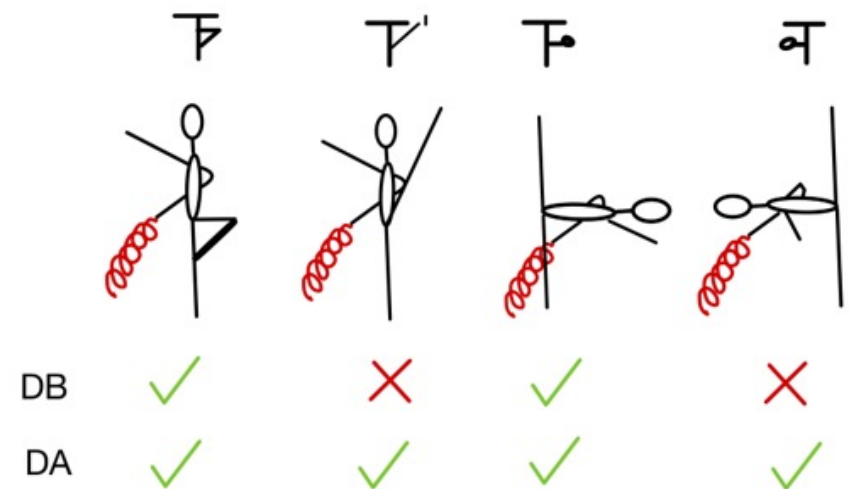
解説 / 例	
異なる手具技術要素の 実施：	異なる面で 面は空間で評価される：水平、前額、矢状 “面”の基準はらせんには適用されない。らせんは異なる方向（下記参照）と／または異なる高さがあること “異なる方向”は以下のように評価される： 手具の通過：手具に入る - 手具から出る - 前方への完全な通過 - 後方への完全な通過 - 側方への完全な通過 - は異なる。 身体に対しての異なる方向で実施される技術的要素は異なる、例：腕を身体の前、横、後ろでらせんを実施。 各技術要素は胴の2つの異なる方向で実施することができるが、その他全ての側面は同じである。例：胴を垂直＋側方、胴を前方＋後方、胴を側方＋後屈、など 例： - リングジャンプ＝胴体は直立 - 後屈ジャンプ＝胴体は後傾 - バタフライ＝胴体は前傾 - リングバランス＝胴体は直立 - 後屈バランス＝胴体は後傾 - トーノー＝胴体は直立 その他全ての方向の種類は同じ手具技術要素である、例： - 前方と後方での風車は同じ 2本のクラブの内回りの小円と1本のクラブの内回り＋1本のクラブの外回りの小円は同じ - 内回りのらせんと外回りのらせんは同じ - 内回りの大きな回旋と外回りの大きな回旋は同じ - 左から右の大きな転がしと右から左の大きな転がしは同じ

個人一手具操作

Q. これらのDBとDAをどのように検証すれば良いですか？

- *1 **DB**OK
- *2 **DB**無効、なぜなら、選手の**胴体の位置**が1番目のDBと同じだから
- *3 **DB**OK(前のDBと胴体の位置が異なる)
- *4 **DB**無効、2つの異なる胴体の位置をすでに使用済み、異なる胴体の位置を伴う2つの以上のDBを価値あるものとしてできない。

4つのDAすべてが有効、選手はさまざまな身体難度を実施している。



個人一手具操作

3.6. の別例

選手が以下のDBで同じ手具操作—同じ高さのらせんを視野外—で実施した場合：

- パッセバランス
- 胴を水平にした側方バランス
- 後屈バランス

DB：最初の2つのみ有効、3つ目は無効
(同じ手具操作で可能な胴体の位置は2つまで)

DA：すべて有効

Remember R

- リスク：空中下で2回の完全な回転をすることを忘れないでください。
- イリュージョンを伴うR：
 - イリュージョンは水平面内での360° 回転を必要としない。
 - 開始と終了が同じ方向を向いている必要はないが、回転の開始と終了は垂直位置で行う必要がある。
 - 空中下で2回の完全な基本回転を行うことが重要である。

垂直軸回転

- 座位：回転は立位または座位から開始できるが、必ず座位または膝立ちの姿勢を経由する。脚の位置は自由に選択でき、開脚の姿勢を経由することも可能である。
- **Q**：座位回転の評価はいつから開始するべきですか？
- **A**：座位回転への最初の一步からです。

Question DA/R

Q：選手が空中下でプレアクロバット要素を行った場合、それはリスクの試みとみなされますか？



例：

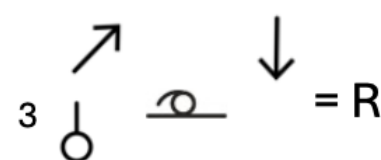
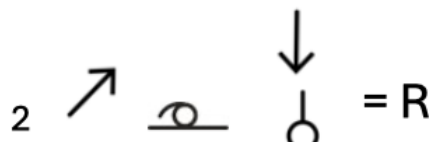
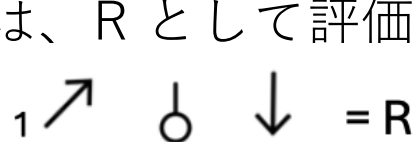
選手は手具を投げ、空中下でプレアクロバット要素を行い、DAを得るため基準を満たして受けました。

A：いいえ、これはDAではありませんが、リスクの試みとして記録されます。

Question DA / R

5.6.4. DA と不正確に実施された R の区別:

5.6.4.1. 空中下で 360° 以上の回転要素を伴う高い投げと受けは R の特性である。このような要素は常に R として評価され、決して DA として評価されない。例外：投げの最中や受けの最中にローテーションを伴わず、手具の空中下でローテーションを伴う単独の DB は、R として評価されない。



5.6.4.2. 選手が空中下で回転を実施しない場合: 回転中の投げと/または回転中の受けは、DA としての定義が満たされている場合、DA として評価される。



Question DA / R

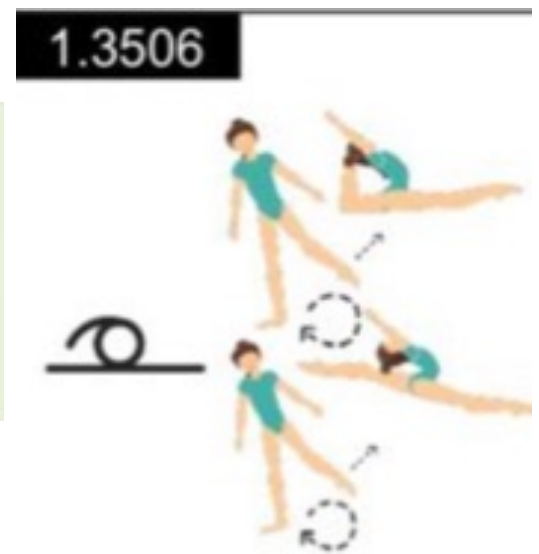
これは、空中下で完全な回転ではない(360° ではない)、DB/DAとして評価され、さらにRの試みにならない。



Q. 後屈とリングを使ったジュツテを1つのシリーズで行うことは可能ですか？



A. はい、可能です。このジャンプは同じボックスで行われるため、シリーズは有効です。



フェットピボット

- **Q.** フェット パッセ誤差；多くの選手は非常に速く回転し、パッセを閉じる時間がないため、パッセが閉じていない場合、誤差としますか？
- **A.** 選手は、回転毎に脚を90° に開かなければならないため、この形に対して誤差となる。
- **Q.** ホップ／スライドを伴うフェット・ピボット(2回転または1回転)は有効なDBですか？
- **A.** ホップ／スライドは実施の減点です。DBは有効な場合があります。

DB

Q.：選手が3 回の連続した開脚リープ(#1.2207)に試みて、1つの跳躍で大きな誤差が生じた場合、 3 回の連続した開脚リープではなく、 2 回の連続した開脚リープ、または2 回の連続した開脚リープの代わりに0.3のスプリット1回とできるのか？

A.：いいえ、このリープに例外はありません。

ブーメラン

Q.：床上のブーメラン：選手がリボンを放し、振り付けのステップをいくらか行い、スティックを受けた場合、それをブーメランとして評価できますか？

A.：いいえ、ブーメランとみなされるには、投げ／引き戻しが同じ動作内で行わなければなりません。振り付けや短いダンスステップがあると、動作が中断されます。

Q.：小さい投げとみなされますか？

A.：いいえ、小さい投げではありません。リボンの端は投げ上げ中に空中になければいけません。

RGI DB





ボールの大きなころがしは、少なくとも2つの身体部位の上を

このベースは無効；したがってDBとDAも無効。



フープの軸回し：指の周り、または身体の周り、もしくは身体の一部で回転させる（最低1回）

このベースは無効；したがってDBとDAも無効。



不安定なバランス：身体と手具の関係が不安定で、手具を失う危険性がある。

このベースは無効；したがってDB無効。



このDBバランスは有効と判断される、なぜなら、選手は最初の試みの後、手を上げなかったからである。その後、選手はバランスを正しく完了した。



DBの繰り返しに注意してください。DBの繰り返し（胴を水平にした側方バランス）は無効。



ベースのローテーション中、足の裏が床につく、胴の大きな誤差の状態でのピボットを実施→は、DB無効



ポジションは、ベースローテーション (180°) の後にかかった。→DB無効



ポジションは、ベースローテーション (180°) の後にかかった。→DB無効



RGI DA



DA

1v



DA -0.40



DA -0.40

異なる/DIFFERENT

2v



DA -0.40



DA -0.00
手具の落下
と
繰り返し

繰り返し/REPETITION

DA



DA -0.40
実施ミスあり



DA -0.40



DA -0.00

5.6.3.

2 個の基準は同じ動作で実施されなければならない。

この例では、視野外投げの後に回転が行われているため、2つの基準は同じ動作内に満たされていない。

DA



DA=0.40
↓ ⊖ ≠

身体の大きな2部位を通過
頭と胴体



DA=0.00
↓ ⊖ ≠

身体の大きな2部位の通過なし



DA有効 = 0.30



§ DB ⊖

DA = 0.00
試みとして数える



DA

REMINDER

脚/両脚の下

脚の下で行う、身体難度と手具操作の関係。少なくとも、操作している手は脚の下でなければならない。

⇒ 連結していない2本のクラブの**小さな投げ**は、
最低360° 回転させて受ける：
同時に、または交互に

RGI EXECUTION

実施



これは完全にバランスを失っていますか？



これは片手、または両手、あるいは手具で支える0.50のバランスの喪失です。

これは手具の喪失ですか？



いいえ、これは手具の喪失ではありません。
この実施ミスは、0.30点（中断なしで身体の一部
またはスティックの周りにリボンが巻きつく）



はい、スティックが床に落ちたため、実施ミス
0.50点の手具の喪失です。



指で明らかに押し潰している0.10点



これは実施ミス。手具の静止0.30点。



- 脚の小さな誤差による不正確なフォーム
(0.10点)
- 最低 1 秒間の静止がないフォーム
(0.30点)

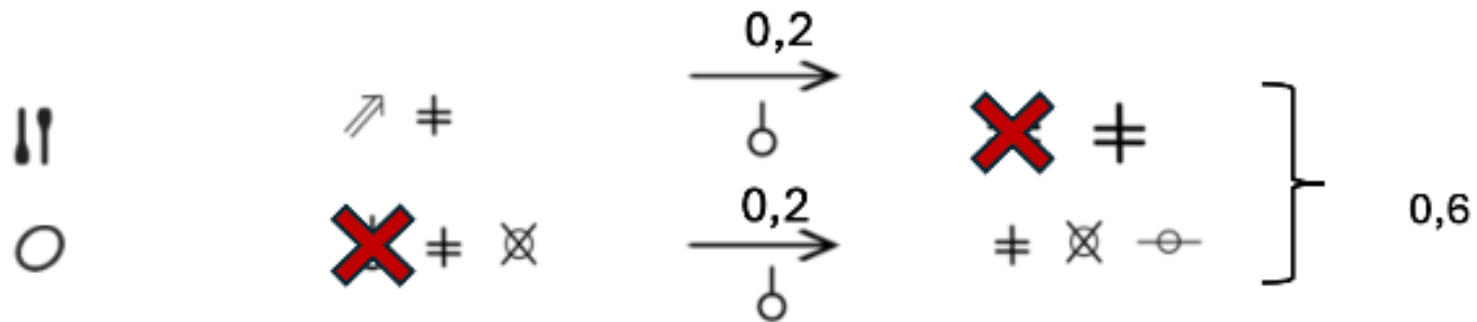


RGG 団体

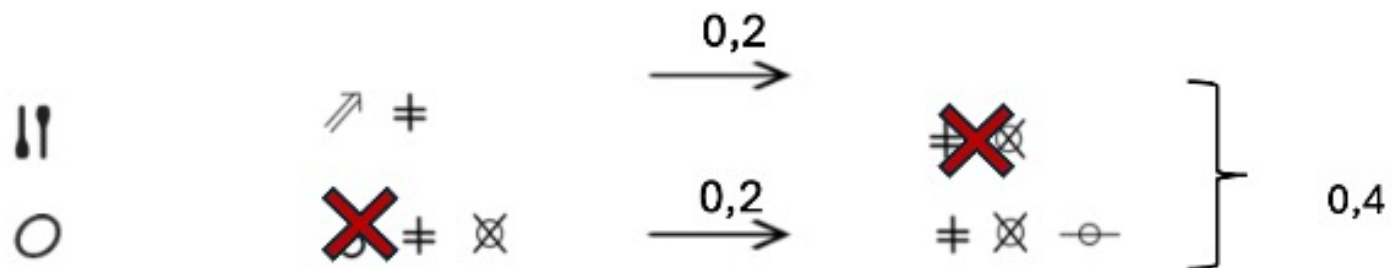
団体

- **Q**：一部の選手が投げの前にプレアクロバットを行い、ほかの選手が投げの後にプレアクロバットを行った場合、交換は有効ですか？
- **A**：回転の基準がなくても交換は有効です。そのほかの基準は有効となる場合があります。
- **基準**：滝上の投げはパートナーへの投げに注意しなければならない、「視野外」の投げは、評価されるためにパートナーに投げなければならない。

团体-交换-1



团体-交换-2



団体-DA



これはコンバイン連係（CR & CC）
6.4.4.によると、この要素は無効（0.00点）、
さらにDCの試みとして記録される。

団体-DA



このCR3では3回のリバンドが連続して行われている。
しかし、このリバウンドはCRの受けの一部であり、独立した動作ではない。したがって、これはコンバイン連係ではない。

CR3有効 = 0.6

団体-DA



「土台」の選手の一人が手
支持倒立のバリエーション
を行っている。

これは、「片手または両手
での支え…」とみなされる。

DC無効 + E減点

6.10. 連係における禁止要素

- 1 名以上の選手が床との接触を欠いてもたれかかったり、持ち上げたりする動作や姿勢を 4 秒以上続ける
- 4 秒以上選手を床上にて運ぶまたは引きずる
- 1 名またはそれ以上の選手のグループの上を歩く - 2 つを超える支持を伴って -
- 床上に身体他の部位をつけずに、片手または両手または前腕のみでの支持で、前方転回/側転を伴わずに垂直位置で停止
- 許可されていない身体の造形/持ち上がった姿勢（芸術 #12 を参照）

団体-DA



複数投げの準備をする際、選手間の距離は 8m あるが、投げが
高くなく、短すぎて選手が受けるために近くまで走らなければなら
ない場合、連係は有効か？

いいえ:連係が難度の定義に従って実施されていない:
連係の場合、手具を投げる距離は少なくとも 8m なけ
ればならない:投げる選手の位置と受ける選手の位置
の間の距離

複数投げ：

2つ目の（後ろに投げた）ボールが高くも長くもない。

これはDC無効。

団体-DA

CC 3つの動作がすべて見える必要がある。



この例では、3番目の動作が見えない。フープが空中にある状態が見えない。= CC無効

団体-DA

CC 手具との関係性を伴う3つの同じ動作が、
小さい投げの受け



基準が小さい投げの受け中に正しく行われた場合、
CCは0.4として評価される。

芸術 団体

- 思い出してください。身体での造形／持ち上げられた位置は、1 度に**最大 1 名の選手**を床から上げることができる。
- 上げられた選手は持ち上げられる、または上げられた位置に登ることができるが、**ジャンプして上へ飛び上がる、空中に投げられる、飛び降りる**、または上げられた位置から**落とす**ことはできない。
- 上げられた選手が、**手支持、肘支持**や首支持の全てのバリエーションで実施することは**できない**。これを除いた位置や動きは自由。
- 各許可されない要素に対して、減点0.6点。

芸術 団体

ダイナミックチェンジ

Q：ダイナミックチェンジがコントラスト（2つのスローな動き）によって実施されたとしても、音楽に関連していない（音楽に合っていない）場合、それはリズムの減点になりますか？

A：はい、そのダイナミックチェンジは評価されますが、リズムの減点が適用されます。

**THANK YOU
GOOD LUCK**

